

第15回 高速道路のあり方検討有識者委員会 議事録

平成23年12月9日

【道路局次長】皆さま本日は大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から第15回高速道路のあり方検討有識者委員会を開催させていただきます。最初にお手元の資料を確認させていただきます。上から配席図、クリップを取っていただきまして議事次第、資料1「委員名簿」、資料2「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(案)の概要」、資料3「とりまとめ(案)」の本体、資料4「とりまとめデータ集(案)」でございます。よろしゅうございましょうか。報道関係の皆さま方につきましてはここで一度ご退席いただきたいと思います。後ほどまた入っていただきますのでよろしく願います。以後の議事の進行は座長にお願いしたいと思います。

【座長】それではこれより議事を進めさせていただきます。本日の議事は、「今後の高速道路のあり方中間とりまとめについて」でございます。まず初めに事務局より「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(案)」についてご説明いただきたいと思います。よろしく願います。

【企画課長】事務局の方からご説明させていただきます。あまり時間がないものですから資料2、A3の一枚紙で「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(案)の概要」として整理をさせていただいているものでご説明をさせていただきます。あわせて資料3で、前回からの修正部分を赤字で明確にしたものをお配りさせていただいておりますので、それを横に置きながら見ていただければと思います。それでは資料2でご説明をさせていただきます。「中間とりまとめの基本思想」ということで、一番上に枠囲みをしています。かねてからこの委員会で3つの基本思想をまとめていただいております。①「強くしなやかで国際競争力のある21世紀日本の形成」、②「総合的な交通体系の中での道路システムの最適化」、③「持続可能なシステムに向けた公正な負担の実現」、この3つの基本思想に基づいてⅠ.「ネットワークのあり方」、Ⅱ.「今後の料金制度のあり方」、こういったものを横串をさせていただきながらご議論をいただいたところでございます。Ⅰ.「ネットワークのあり方」でございますが、「ネットワーク再考の基本理念」ですが、「人口減少局面での国土の再編・強化」をどうするか、「国土の信頼性向上」をどうしていくのか、ということをご議論していただいた中で以下の結論を導き出させていただきました。2つめの○「明確なプライオリティに基づく戦略的整備」、どこもかしこもやるというわけではなく、明確なプライオリティに基づいて戦略的に整備をしていこうということで、最優先で取り組む2本柱を明示いただきました。1)「日本経済を牽引する拠点地域としての大都市・ブロック中心都市におけるネットワークの緊急強化」というのが一つの柱。①で、例えば外環などの「環状道路などの抜本対策の加速」、あるいは※にあるような、新名神、新東名といった「大都市・ブロック中心都市間は、災害時の相互のバックアップのための多重化が必要」だといった視点、2)ですが、「繋げてこそそのネットワークを改めて認識をした上で国土を保全するネットワーク機能を早期確保」という視点をお導きいただきました。ただ、この際に早く結ぶためには効率的でなければいけないというこ

とで、①「走行性の高い国道」を使う、「完成2車線」を採用する等の効率性を追求することも忘れないようにとされています。「今後の整備・管理の費用負担の方向性」ということで、これも座長が強くおっしゃられていましたが、道路整備による受益が広く地域に及ぶこととなりますので、「高速道路の直接の利用者や自動車ユーザー全般の負担」、加えて「自動車ユーザー以外の主体や便益を共有する地域からも負担」をしていただくという視点で、今後の車社会の負担の方向性というのはこうあるべきではないかということです。ミッシングリンクについては、「地方部は税負担による無料整備」、大都市については「有料整備を基本」としつつも不足分は「税負担も活用」しながら整備をする。2つめのポツですが「既設道路の機能強化（車線増設やIC増設等）」、いわゆる4車線化等をしていくときには、「高速道路会社の管理区間は利用者負担による有料道路を基本とする」、加えて※の「都市高速の更新の際、まちづくりと一体となった計画」も作っていくべきだという形でのまとめにいただいています。「維持管理」については、「無料整備区間は税」、「有料整備区間については利用者負担での対応を基本」にやっていくということでございます。Ⅱ．「今後の料金制度のあり方」についてでございますが、「今後の料金制度の基本的な考え方」として枠囲みに記載しています。「公正妥当な料金の実現と低減への努力」をしていく、「安定的でシンプルな料金制度の構築」をしていく、その中で「債務の確実な償還と将来の更新等への対応」を図りつつ、3つめのポツにあります「弾力的な料金施策等による交通流動の最適化」を図っていくのだという基本的な考え方をまとめていただきました。「料金制度のあり方」については、「対距離制を基本」とする、その水準は全国で共通だと。料率を高くする場合でもあまり大きな料金差にならないように工夫をしていくことが必要だということ。料金施策をいろいろきめ細やかにやっていく際にも、ちゃんと評価をしながら見直しを継続していくべきだということ。今後の更新費用とその償還については、償還期間の延長や償還対象経費の見直し、償還後の継続的な利用者負担、といった様々な方向を今後幅広く検討すべきだということにご意見をいただいています。「料金制度にかかる当面の課題」として3年後の料金割引、これについても今までの効果検証をやりなさい、そして本四高速の料金については全国共通の料金水準を目指して海峡部も大きな料金差とならないような配慮をする。さらにはNEXCOとの将来的な合併について準備をしつつ、国と地方の出資継続をしていくことを早く合意形成を図っていくべきだということの導きをいただいています。以上、中間とりまとめ案、雑駁ではございますが概要を説明いたしました。

【座長】 どうもありがとうございました。中間とりまとめ案について、本日この委員会でとりまとめをしたいと思っています。これまで委員の方々からいただいたご意見は概ね反映されていると思うのですが、ご感想でも結構ですので、ご意見等ございますでしょうか。

【委員】 ぜひ迅速に具体の制度にして、実行していただきたいと思います。3年後まで財源があるからというわけではなくて、次期通常国会からでも予算に反映していただいてやるべきことはやっていただきたいと思います。

【委員】 私から特段の意見はありませんけれども、印象というか感想です。15回、ファクト・ファインディングをして、実際に現場がどうなっているのか、どういった問題意識で関係者が向き

合っているのかということについて、我々自身も目を開かされた部分もあるわけですがけれども、ネットワークのあり方についての基本的な考え方、今後の料金制度のあり方について、ある種のベースになる思想のところをしっかりと踏み固められたかな、という印象を持っています。途中で3.11に襲われて緊急対応しなければいけないということも印象深く残っているわけですがけれども、とりあえず中間とりまとめという形で事務局とのキャッチボールの中で少しずつ収斂してきたかなと思っています。

【座長】よろしいでしょうか。ではこの内容で本委員会の中間とりまとめとしてご了解いただいたということで、とりあえず議論を収斂させたいと考えます。事務局にお返しいたします。

【道路局次長】本年4月以降、15回にわたりまして有意義なご議論をしていただきまして、本日は中間的なとりまとめをしていただき誠にありがとうございます。それではこれより座長より大臣への中間とりまとめの手交をお願いしたいと思います。準備をさせていただきますのでしばらくお待ちいただきたいと思います。

(中間とりまとめ手交)

【道路局次長】中間とりまとめをいただきましたので大臣から一言お願いいたします。

【前田大臣】座長はじめ委員の皆さま方、ただ今座長から中間とりまとめをいただきました。誠にありがとうございます。この間、委員の皆さま方におかれましてはそれぞれご多忙の身でありながら現地調査も含めて本当に熱心に今後の高速道路のあり方についてご議論をしていただきました。先ほど来、総括のご議論を聞いておりまして、3.11以降の日本の再生に向けてこれからの持続可能な国土の基幹を担う高速道路のあり方について、非常に明確な理念のもとに、しかも具体的にどういうふうに展開すればいいかということについても方針をいただきました。心から御礼を申し上げます。今後、最優先のプライオリティをもって取り組むべきネットワークやそのための費用負担の基本的な考え方を明確にさせていただくとともに、将来世代にわたり持続可能で公正かつ合理的な料金制度のあり方をご提示いただきました。私、本委員会の議論の中で高速道路は国土の重要な基盤であり、我が国の地域社会と経済を繋ぐ大動脈であると改めて認識をいたしました。国土交通省はこのとりまとめを今後の我が国の高速道路政策の行く末を照らす指針として、いただいた一つ一つのご提案を踏まえてしっかりと対応し、持続可能で活力ある地域づくり国づくりを推進して参りたいと考えています。これまでの長期間に渡る精力的なご検討、ご議論に改めて敬意と感謝を申し上げてご挨拶いたします。ありがとうございました。

【道路局次長】ありがとうございました。この後、11時5分頃に5階の大臣会見室におきまして座長の会見を行いますので、よろしく願いいたします。以上をもちまして第15回高速道路のあり方検討有識者委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

以 上